



《整備の目的》

国指定重要文化的景観である「天草市崎津・今富の文化的景観」の構成要素と関連が深い紋付屋旅館跡地を、崎津の歴史や風土を感じながら、来訪者や地域住民が憩い・交流できる広場とすること。

《崎津集落とは》

崎津集落は、羊角湾に面した潜伏キリシタンの里として知られており、田中研究室としても創設当初から関わってきました。2013年には、文化財保護法に基づき「天草市崎津・今富の文化的景観」の名称で国指定重要文化的景観として選定されました。昨年2016年には、崎津集落を含む長崎の教会群とキリスト教関連遺産の構成資産が世界遺産登録審査予定でしたが、ICOMOSから「推薦内容を祭教期重視に見直すべき」という中間報告を受けたことで、推薦は一時取り下げられ、世界遺産の登録が見送られました。しかし、2018年6月30日に「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の名称で、念願の世界遺産への登録を果たしました。



現在の崎津教会の様子

《計画地の概要》



面積：約700㎡

紋付屋旅館とは？

昭和〇〇年まで実際に営業していた海に玄関を向けた宿。江戸期には廻船、昭和初期には小型汽船がそのまま宿の敷地に横づけになって出入りしていました。現在は崎津集落内のオープンスペース（自由な空間）として、主に休憩等に利用されています。



昭和20年代の紋付屋旅館



現在の対岸からの様子



現在の紋付屋跡地の様子

《崎津観光交流広場(紋付屋跡地)利活用ワークショップ》

崎津観光交流広場(紋付屋跡地)の整備にあたり、地域住民や来訪者にとってよりよい広場とするために、整備の基本計画を作成し、行政と地域住民の合意形成を目的に行います。その際、立場の異なる様々な主体が協力し、それぞれができることを考えることで、計画に地域の意見を反映させるだけでなく、管理の仕組みや具体的な利活用の検討が可能となり、広場に対する愛着を育み、整備後の継続的な運営・管理が期待されます。

現在までに、5回のワークショップ（WS）と度重なる現地調査や専門家同士の意見交換会等が実施されています。

研究室に所属する学生の役割としては、主に研究室の先生と一緒にワークショップの内容作成や現地調査を行います。また、実際にワークショップに参加し、ファシリテーターとして、行政と地域住民の橋渡しの役割を担い、学生ならではの意見を求められています。

第1・2回ワークショップ → 意見の抽出・共有

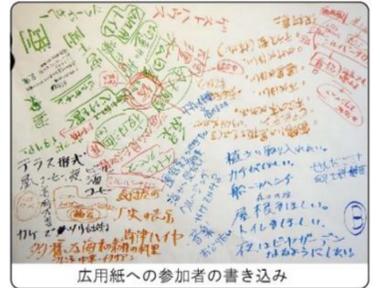
『ワールドカフェ方式』で話し合いました

喫茶店（カフェ）で行うような、自由な会話を通して意見交換を行う話し合いの方式です。

やり方

- ・話し合いのテーマを決める。
- ・1つのテーブルに4～5人で座る。
- ・会話をしながら、テーブルに置かれた用紙に意見を書く。
- ・15分ごとに席替えをして、多くの人と意見を共有する。

ルール | 他人の意見を否定しないこと



応用紙への参加者の書き込み

今まで話し合った中で、みなさんが「いいね！」と思った意見と提案

休憩する場所 ・移動のできるベンチやテーブル ・屋根や木陰で休める ・海をゆつくり眺める ・シルバーテラス	食事ができる場所 ・せんだご汁や干物など地産の特産物が食べられる ・昼はコーヒー、夜はビール ・出物や弁当持参で食事	体験ツアーの拠点 ・季節ごとの体験ツアー ・夏：バナナボート ・秋：満月の風景を眺める体験 ・サンセットクルーズ
観光客の足止め ・記念撮影スポット ・地元の食を楽しみながら滞在時間を延ばす ・定期的にイベント開催	＜第1・2回のテーマ＞ 私は紋付屋跡地をこう使いたい！	海辺の利活用 ・カケを作って釣りや風景を楽しむ ・桟橋を設置して天馬船などの発着場として使う ・海からの玄関口
地域の交流の場 ・旅と一緒に遊べる場所 ・広場にゆつくり眺める ・住民も観光客も楽しめる場所	情報発信の拠点 ・口コミやSNSを利用した情報発信 ・観光客がメッセージを残せる掲示板	木陰と花のある場所 ・広場の中にシンボルとなる大きな木(アコウなど) ・花いっぱい日本庭園 ・コレジョ風庭園



ワークショップの様子

第3回WS → 具体的な利用案づくり

第3回WSでは、第1・2回WSの意見をふまえて「崎津でやりたい4つの活動」に分かれて話し合いました。

小高い活動 ささやかだけれどしっかりと、地域が潤う仕組みを考えます。	海辺の利活用 広場から海へ、生業を観光に活かす仕組みを考えます。	観光ガイド拠点 観光客により楽しんでもらう、情報発信の仕組みを考えます。	憩い空間 誰もが自由に使える、憩いの空間づくりを考えます。
--	--	--	---

小高い活動の5年後は、泊まって食べて体験して観光できる場所 にしたい！

大切にしたいのは、**食**…特産品や郷土料理を楽しむ体験…魚の干物などの調理体験

他と連携してやりたい活動は、**泊**…空家などを活用した長泊観光…教会・マリア像を巡る海上クルージング

必要ルール・仕組みは、**特産品のブランド確立と品質管理**
 ↳ ロゴマークの利用
 ↳ イベント等でのPR活動

連携するための**組織づくり**
 ↳ 他施設との役割分担

空間づくりのキーワード！
 ・イス・テーブル
 ・調理スペース
 ・屋根付き休憩所
 ・イベント広場

海辺の利活用①の5年後は、海を楽しんでいる人がいる風景 がある場所 にしたい！

大切にしたいのは、**海鮮**…バーベキュー…釣った魚をその場で食べる

他と連携してやりたい活動は、**漁船クルージング**
 ↳ 対岸から教会を見る など

必要ルール・仕組みは、**船着き場や釣り場の設置** (カケや桟橋など)

特定の人が占有しない**仕組みづくり**

空間づくりのキーワード！
 ・イス・テーブル
 ・調理スペース
 ・カケ
 ・桟橋

海辺の利活用②の5年後は、泊まってもらい、海に親しみ楽しんでもらう場所 にしたい！

大切にしたいのは、**シーカヤック体験**ができる

他と連携してやりたい活動は、**夏休み期間を使った宿泊込みの体験ツアー**

必要ルールや仕組みは、**シーカヤックの指導者確保**
 ↳ インターネットで募集

空家を活用した**低料金の宿泊施設**
 ↳ 釣りの指導など漁業関係者との連携

空間づくりのキーワード！
 ・桟橋
 ・道具置き場
 ・駐輪スペース
 ・イベント広場

観光ガイド拠点①の5年後は、住民と観光客がゆつくり交流できるようなステキな場所 にしたい！

大切にしたいのは、**お互い笑顔で「また来たい！」**と思えること！

広場の敷地内でやりたい活動は、**魚釣りと調理、貝殻アート**
 ↳ 季節のイベント

他と連携してやりたい活動は、**教会で結婚式**
 ↳ 広場を写真撮影スポットに

必要ルールや仕組みは、**観光客が頼れる観光ガイドの養成**
 ↳ 外国語が話せる生活と観光の接点づくり

空間づくりのキーワード！
 ・イベント広場
 ・調理スペース
 ・水飲み場

観光ガイド拠点②の5年後は、コーヒー片手に海を見ながら談笑している風景がある場所 にしたい！

大切にしたいのは、**なるべく自然の姿にすること！**

広場の敷地内でやりたい活動は、**芝生にシートを敷いて座る**
 ↳ 街の雰囲気を感じたい憩いの空間として、誰でも気軽に立ち寄れる

他と連携してやりたい活動は、**教会にコーヒーショップを作る**

必要ルールや仕組みは、**「草花を育てる」グループの結成** (ハーブ、薬草、種樹など)
 ↳ 維持管理に伴い新たな雇用の場の創出となる

空間づくりのキーワード！
 ・芝生
 ・ベンチ
 ・藤棚
 ・水飲み場

憩い空間の5年後は、みんなで四季折々の草花を五感で感じる交流の場 にしたい！

大切にしたいのは、**五感で感じる**こと！

広場の敷地内でやりたい活動は、**見る**：教会や海を眺める
聴く：波の音、鳥の鳴り、草木の音
匂い：潮、花、魚
味覚：ハーブティー
ふれあう：多国籍の人々と心の交流
 ↳ 国内外のみんなで草花を育てたい！

必要ルールや仕組みは、**「草花を育てる」グループの結成** (ハーブ、薬草、種樹など)
 ↳ 維持管理に伴い新たな雇用の場の創出となる

空間づくりのキーワード！
 ・花壇
 ・プランター
 ・樹木
 ・イス・テーブル

第4回ワークショップ → 基本計画（案）の確認

第4回WSでは、過去に3回実施されたWSで出た意見を基に、3つの視点から6つの案を作成し、それぞれの案の説明を行政側から地域住民側にした後、参加者全員で意見交換を行いました。

■ 基本となるゾーニング

- 海辺空間** 人々が日常的に憩い、海に親しむ場
- 広場空間** 高い活動やイベント等、多目的に活用できる場
- 入口空間** 来訪者のおもてなしや情報発信の場



説明の様子

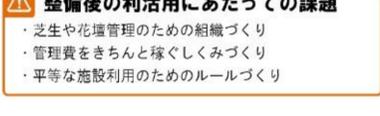
■ 計画案のコンセプト

A 高い活動を重視したにぎわい創出案 広場空間を広く確保し、高い活動やイベント等に活用して地域のにぎわいを創出する。	B 海への通景を重視した景観創出案 入口から海への通景を重視して施設を配置し、新たな景観スポットを創出する。	C 憩い空間を重視したこい創出案 海辺空間にベンチや植栽を配置して、木々と海に囲まれた憩いの空間を創出する。
A-1 	B-1 	C-1
A-2 	B-2 	C-2

WSで取りまとめた基本計画（案）



海辺空間・広場空間のイメージ図



入口空間のイメージ図

海辺空間の整備方針

- ・既存樹木（エノキ・センダン）を残す
 ↳ 下枝を剪定して通景を確保する
 - ・木製のデッキを設置する
 ↳ イベント時はステージとしても利用可能
- 今後の検討課題**
 ・転落防止施設は通景を阻害しないものを検討する（植栽やフェンス、高さなど）

広場空間の整備方針

- ・メインとなる広場は芝生とする
 - ・入口からの通景を確保する
 - ・施設整備は最小限とし仮設で利用する
 ↳ 最低限の調理施設と水回りは設置する
 - ・仮設の道具（イス・テーブル等）を収納するスペースを確保する
- 今後の検討課題**
 ・車イス等の動線となる園路の舗装やルート
 ・新たに植栽する天草らしい樹木の選定
 ・木棚やデッキと一体化した収納の構造

入口空間の整備方針

- ・ソテツ2ヶ所は残して活用する
- ・ウェルカム花壇を設置する

第5回ワークショップ → 基本計画（案）の仮決定

第5回WSでは、第4回WSで決定した内容をふまえて、私たち田中研究室と星野（景観デザイン）研究室が合同で作成した模型を使用して説明を行い、意見交換を通して基本計画（案）を仮決定しました。

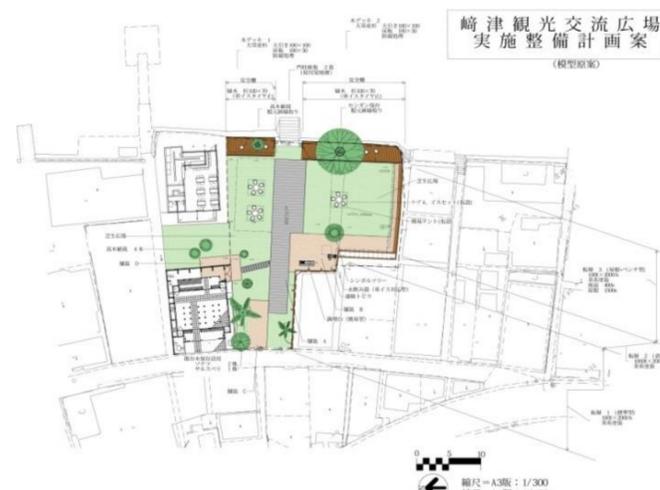
《第5回WSにおける意見・検討事項》

- 飲食店（海月）と広場の境界**
 ・民地と公共用地は堺等に分けた方がいい。
 ・仕切っても構わないが眺望は確保したい。
 ↳ 最低限の高さの生垣等を検討。
- 海側階段の利活用**
 ・海側階段からの景色はいいが、安全性に問題がある（現在一部が立入禁止になっている）。
 ・海の利用を考えると、安全に船を着けることができる桟橋はほしい。
- 車両乗り入れの許容範囲**
 ・一般車両の乗り入れは禁止。
 ・維持管理やイベント時の搬入等は可能。
- 照明灯の設置**
 ・安全性を考慮すると設置した方がいい。
 ↳ 一歩の騒音対策等も考慮する必要がある。
 ↳ 点灯時間や照明の高さを検討。
- イベント等に利用する電源の設置**
 ・地面にコンセントを埋め込む等、常設の電源を設置したい。
 ↳ 継付収納に発電機を設置することは可能。
- 屋根・椅子の設置**
 ・規模の大きい東屋は設置しないのか。
 ↳ 基本的に仮設で対応するが、最低限の規模の日よけ・雨除けのための屋根は設置する
- 芝生へのネコのフン対策**
 ・広場の大部分を芝生にすれば、ネコがフンをしやすくなるのではないのか。
 ↳ 舗装による違いはあまりない。
- 木棚の色彩や形状**
 ・隣接する民家が暗くなるのではないのか。
 ↳ 木棚の色彩や窓の設置など検討。
 ↳ 災害時の逃げ道があった方がいい。
 ↳ 木棚の一部にドア設置を検討。
- 広場内に新たに植える樹木の種類**
 ・常緑樹かつ育ちやすい樹木で崎津らしいもの
 ↳ アコウ（天草市の木）、クリスマスツリーとなるようなものなど
- 広場の管理方法**
 ・ルールは地域で作成し、施設は作ってもらいたい。
 ↳ 仮設の椅子を常に5つ程度出しておけるような、ある程度自由な雰囲気を作りたい。



海側階段からの眺め 道路側からの眺め テッキから教会方向の眺め

《模型原案》



崎津観光交流広場 実施整備計画案 (模型原案)